

事務事業名		農畜産物等雪害見舞金交付事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり				担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 施設園芸・果樹栽培の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	8639	一般	6	1	2	農畜産物等雪害見舞金交付事業				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		市単独事業			
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H25年度～26年度		根拠法令 条例等	佐野市農畜産物等雪害見舞金交付要領		任意の事業・義務的の事業		任意の事業
	実施方法		実施方法		直営		事業分類		現金・現物給付事業	
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
平成26年2月上中旬の降雪により被災を受けた農畜産業者に対し、見舞金を交付し支援をする。 ※降雪により農業用施設、生産物等に100万円以上の被災を受けた農畜産業者に一律5万円を交付する		平成26年2月上中旬の発生した大雪により、農畜産物又は農畜産業用施設に被害を受けた市内の農畜産業者に対し、5万円を交付する。 @50,000円×47件						
①見舞金交付申請の受付 ②被害状況の確認 ③見舞金の交付		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		見舞金交付農畜産物生産者	人		47			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
平成26年2月上中旬の降雪により農業用施設や農作物に被災を受けた農畜産業者のうち、交付要件を満たす者		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		交付要件を満たす被災農畜産物生産者	人		47			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
交付要件を満たした農畜産物生産者に確実に見舞金を交付し、降雪により被災した農畜産物生産者の労苦に報いる		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		見舞金の交付を受けた農畜産物生産者／交付要件を満たす被災農畜産物生産者	%		100			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		施設園芸取扱量	トン	-	1,421	1,565	1,580	1,590
		果樹栽培面積	a	-	3,427	3,240	3,260	3,280

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			2,350							
	事業費計(A)	千円		0	2,350	0	0	0	0	0	0	0
人件費	事業費の内訳	千円	補助金	2,350								
			人件費計(B)	788								
	正規職員従事人数	人		1								
	のべ業務時間	時間		200								
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	3,138	0	0	0	0	0	0	

事務事業名	農畜産物等雪害見舞金交付事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	----------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年2月上中旬の降雪により被災を受けた農畜産物生産者の労苦に報いるため
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	降雪による被災から立ち直りつつある
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	見舞金が交付されることは、ありがたい

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 農畜産物生産者の労苦に報いることで、再開に向けた生産者の意欲向上、育成及び支援につながる
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 市が被災した農畜産物生産者に対し交付するものであることから、市が行わなければならない
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 被災を受けた農畜産物生産者への支援であり、妥当である
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 被災を受けた農畜産物生産者への支援であり、見舞金の交付を受けた者の更なる発展を期待する
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 見舞金の交付であり、削減の余地はない
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
総合 評価	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 見舞金の交付であり、受益者負担を求めるべきものではない
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
平成26年2月上中旬の降雪被害に限定した事業であり、平成26年度にて事業終了となる		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			